内科（血液）

診療内容・専門分野

血液内科は、貧血や白血球減少症、血小板減少症など血球数の増減を伴う疾患や、白血病やリンパ腫、骨髄腫等の造血器腫瘍などを診療する部門です。

現在、総合病院での外来診療は週３日(月、火、金)です。

入院診療は主として総合病院5階東病棟で行います。病棟には白血病など強力な化学療法を必要とする疾患にも対応できるようクリーンルームが設置されております。

現在、血液内科専門医師 1 名が診療にあたっています。また、山形大学医学部附属病院とも連携し、外来を中心に対応しています。看護師、薬剤師などを含めたスタッフのチームワークで、患者さんがよりよい診療を受けることができるよう心がけています。

ご紹介いただくにあたって

貧血、出血傾向、発熱、肝脾腫・リンパ節腫脹など非特異的な所見のうらに血液疾患が隠れていることも少なくありません。このような異常のみられる患者さんがいればお気軽にご紹介下さい。また、急性白血病、急性血小板減少症など診断治療に急を要する疾患が疑われる場合は、定期の外来日を待たずにご連絡下さい。迅速に対処いたします。

血液疾患は血球数の異常を伴うことが多く、その発現時期が診断の参考になることがあります。ご紹介いただく際には、それまでの血液検査結果があればそのデータも添付いただければ幸甚です。